

# 2020年3月期全塾協議会定例会議事録

2023年12月25日

全塾協議会

全塾協議会規約 第22条第1項に基づき、2020年3月29日に開催された全塾協議会定例会の議事録を公開する。ただし、役職役名ならびに条数は議会当時のものである。

## 議事概要記録

名称	2020年3月期全塾協議会定例会
場所	オンライン(Webex)
日時	2020年3月29日 18:30~19:28

### 出席者

	塾生代表	後藤圭祐
上部団体	文化団体連盟三田本部常任委員会 委員長	芹澤幸輝
	体育会本部 主幹	俣野陽
	全国慶應学生会連盟常任委員会 常任委員長	吉田凌太
	全塾ゼミナール委員会 委員長 代理	山本洸介
	四谷自治会 会長	保住英希
	芝学友会 会長	福井一玄
	福利厚生機関本部 代表	梅山晃弘
	全塾協議会事務局 事務局長	岩館則明
	全塾協議会事務局より他3名	
以下議案提出者	卒業アルバム委員会 委員長	永井幸輝
	塾生会館運営委員会 委員長	木暮蒼真

## 次第

項目	担当・議案提出者
1. 開会宣言	事務局長 岩館則明
2. 塾生代表挨拶	塾生代表 後藤圭祐
3. 定足数確認	議事部長 張容準
4. 配布資料の確認	
5. 前回議事録の確認	
6. 議長の指名	
7. 議事	
(1) 塾生代表報告 [20200329-01-JSD]	塾生代表 後藤圭祐
(2) 事務局報告 [20200329-02-JMK]	
i. 議事部報告	議事部長 張容準
ii. 総務政策部報告	総務政策部長 関田大輝
iii. 財務部報告	財務部長 関田大輝
iv. 広報部報告	事務局長 岩館則明
v. 事務局長報告	事務局長 岩館則明
(3) 卒業アルバム委員会の代交代承認申請 [20200329-03-SAI]	卒業アルバム委員会 委員長 永井幸輝
(4) 芝学友会の代交代承認申請 [20200329-04-SGK]	芝学友会 会長 福井一玄
(5) 塾生会館運営委員会の代交代承認申請 [20200329-05-JUK]	塾生会館運営委員会 委員長 木暮蒼真
(6) 全塾協議会事務局の所属団体に関する議案 [20200329-06-JMK]	全塾協議会事務局 事務局長 岩館則明
8. 連絡事項	
(1) 次回全塾協議会の日程について	議事部長 張容準
(2) 塾生代表からの連絡	塾生代表 後藤圭祐
9. 閉会宣言	事務局長 岩館則明

## 議決事項

議案識別子	提出者	議事名	可否
20200329-01-JSD	塾生代表 後藤圭祐	業務報告	採決なし
20200329-02-JMK	全塾協議会事務局	業務報告	採決なし
20200329-03-SAI	卒業アルバム委員会	代交代承認申請	可決
20200329-04-SGK	芝学友会	代交代承認申請	可決
20200329-05-JUK	塾生会館運営委員会	代交代承認申請	可決
20200329-06-JMK	全塾協議会事務局	所属団体に関する議案	可決

2023年12月25日 議事録作成(ただし、役職役名ならびに条数は議会当時のものである。)

(署名)

全塾協議会事務局 事務局長 岩館則明

全塾協議会規約第22条に基づき、事務局長の署名は省略する。

---

この議事録が正確であることを証する。

(署名)

塾生代表 後藤圭祐

全塾協議会規約第22条に基づき、塾生代表の署名は省略する。

---

(署名)

全塾協議会 議長 保住英希

2024年2月4日付で議事録を真正なものであると確認した。

---

## 議事詳細記録

### 1. 開会宣言

事務局長 岩館則明が開会を宣言した。

### 2. 塾生代表挨拶

塾生代表 後藤圭祐が挨拶を行った。

### 3. 定足数確認

議事部長 張容準による点呼により、定足数を満たしたことが発表され、本会の成立が確認された。

### 4. 配布資料確認

議事部長 張容準が、既に配布された資料の確認を行なった。

### 5. 前回議事録の確認

議事部長 張容準は2019年6月分までの議事録が完成している旨を報告した。

## 6. 議長の指名

議事部長 張容準は、全塾協議会規約 第 10 条に基づき議長の選任方法を諮ったところ、満場一致を以って四谷自治会会長 保住英希が議長に選任された。

## 7. 議事

### (1) 塾生代表からの業務報告

塾生代表 後藤圭祐より、新型コロナウイルス感染症の影響により、表立った活動ができないため、SNS を用いて塾生代表としてのアピールを行っていることが報告された。また、端艇部のレガッタにむけた企画を学生部と交渉を行なったが、断念することになったと報告した。

### (2) 事務局からの業務報告

#### i. 議事部報告

議事部長 張容準より、前任者から引き継ぎを行い、今月から部長になったことを報告された。また、新型コロナウイルス感染症の影響でイベントが中止になってしまったことにより、多くの業務に務めることができていないと報告した。また、当面は議会準備や運営業務に専念することを述べた。

#### ii. 総務政策部報告

総務部業務長 関田大輝より、2名の新人研修を統括していることを報告された。また、三田部室の清掃を行っていること、閲覧可能な局員が限定される資料の管理方針を策定したことを共有した。議会の公開や改革、新規事業助成制度の改正や基金設立など、塾生代表の制作について共有、協議を行っていることを報告した。最後に、総務政策部内に新たに政策課と総務課を創設し、事務局内総務の担当と企画・政策担当を分ける予定であることも報告した。

#### iii. 財務部報告

財務部長 関田大輝より、ファイル整理に取り掛かっていること、2月分の特別支出許可番号を発行したことが報告された。また、12月締め団体の決算を回収しているが、一部未提出の団体があるため、催促をしていくこと、2月期、3月期財務講習会を3月締めの全団体に対し実施したことが共有された。加えて、文化団体連盟本部交付手続きが完了したので、承認後振り込む予定であること、應援指導部に交付金を交付したことを報告した。3月締め団体の交付に関しては4月に順次振り込む予定であることが述べられた。また、秋祭実行委員会と面談を行い、2018年度決算を修正したことを連絡した。最後に、共済部とも面談を行い、収支にずれが確認されたので決算を修正し、4月期定例会以降で事務局から報告する予定であることを報告した。

#### iv. 広報部報告

広報部長に代わり、事務局長 岩館則明が広報部報告を行った。広報部で行っているあいさつ運動について、新型コロナウイルス感染症の影響により当面は実施しない方向であること、全塾協議会 Web サイトをより見やすくするための改善を行っていることが報告された。

#### v. 事務局長報告

事務局長 岩館則明より、新型コロナウイルス感染症の影響で、濃厚接触の機会を減らすため、リスク

のあるイベントはすべて取りやめ、延期することにしたと述べられた。また、同じく新型コロナウイルス感染症の影響で、新歓活動やオリエンテーション期間がなくなってしまったため、Twitterを利用して所属団体の紹介を行なっていることも報告した。最後に、塾生代表と共に行っている学生部との面談に関して、今月はメールで行うことになったことを報告した。

### (3) 卒業アルバム委員会の交代承認申請

卒業アルバム委員会より交代承認申請が上程され、新委員長に永井幸輝、新財務に青木満智子が就任した。

議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表 後藤圭祐は本決議を承認した。

### (4) 芝学友会の交代承認申請

芝学友会より交代承認申請が上程され、新財務に島村千陽が就任した。

議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表 後藤圭祐は本決議を承認した。

### (5) 塾生会館運営委員会の交代承認申請

塾生会館運営委員会より交代承認申請が上程され、新財務に川原万由子が就任した。

議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表 後藤圭祐は本決議を承認した。

### (6) 全塾協議会事務局の所属団体に関する議案

全塾協議会事務局より應援指導部の再建案についての議案が上程された。事務局長 岩館則明が應援指導部へ再建案の報告をするよう促した。應援指導部 森下哲晴、菊池彩美が以下の報告を行った。昨年報道された一連の問題を受け、部の体制を見直すこととした。短期スパンではなく、行動・規則について長期的に部としてどうあるべきかを考えた。部内での意思決定方法について、下級生の意見を反映させることを重要視し、学年や年齢に関係なく全員で部内での同意をとることができるようにする予定である。従来は、上級生が主体となる意思決定を行っており、100名を超える部員を円滑に統括できる側面もあったが、下級生が意見しづらい体制を生んでしまう問題点が生じていた。これを受け、今後は全部員が参加できるように、「内部監査役」を設置することとした。内部監査役を実施することで、適正な意思決定がなされているかを部員全員でチェックできるようにする。また、チーム制を始動させることで、部内のプロジェクトや専門ごとにチームを組み、全部員からの意見を募り反映させることができる組織に改革する。具体的な組織体制としては、①「内部監査役」の設置、②「幹部」概念の廃止、③役割決定方法の変更、④「チーム制」の導入を挙げる。①内部監査役では意思決定が正しく行われているかを、客観的に調査する。②幹部概念の廃止では、幹部がその個人の絶対性や排他性そして不透明性を生み、間接的に部員内で序列を招く組織体制をもたらしてしまっていたため、廃止することで新体制では、必要とされる事柄に応じて役割分担を行う。③下級生の意見を取り込むために、新たな役割決定方法を採用する。④全部員が公平・平等な立場として活動に取り組むことができるように、学年に囚われない縦割りのチームを編成することとする。また、ハラスメント関連について、従来は顧問に報告する形であったが、実際には報告がなされておらず、機能していなかったため、新体制では報告相談ができる窓口を設置し、匿名での相談や報告をできるようにした。窓口に関しては部からの独立性を保つために部外の窓口と、應援指導部の活動を理解し相談を受けた場合に適切な対処がなされるよう部内の窓口に分け、部外と部内それぞれ

れ窓口を設置することとした。部外の窓口に関しては弁護士の方を担当にする予定であり、既に候補が決定している。また、部のルール見直し・マナー講座の導入を決定した。従来の應援指導部では、応援指導を行う者として相応しくあるために最低限必要とされる礼節などが規定される一方、一部には現代社会一般と親しまないものや、解釈によっては上下関係を強調してしまうものが存在していた。そこで、そのような社会に慣れ親しまないルールや不必要であると判断したルール、健全な上下関係を阻害するルールは撤廃し、最低限の良識のためのルールのみを残すこととした。また、これをルールという形で残すのではなく、「マナー講習会」を設置することで社会一般の感覚に適した礼節を学べるようにすることとした。これにより、大切にしてきた部員の品性は保ちつつも、不必要な上下関係を廃した自由闊達な組織作りが実現されることが望める。さらに、ファミリー体制を導入することとした。部門と学年が均等に振り分けられるようにした縦割り班による「ファミリー制度」を設置することで、学年間を超えた関係性を構築できるようにし、信頼を築きお互いを高めることを図っていく。そして、再発防止のため、今回発生した問題の概要、その原因、及ぼしてしまった影響を、今後入部する部員や未来の部員にしっかりと継承していく。また、塾内メディアでは、処分内容のみが報道されており、処分内容の訂正に関しては塾生に周知できていないため、活動再開のためにも全塾協議会は、應援指導部の現役部員についてその潔白性を認識していることと、二月期定例会にて処分第二項の理由について、前項の意図から外れた誤解を招かない表現に訂正したことを塾生に発信してほしいとのことであった。さらに、今度の活動については、塾旗の掲揚は原則行わないが、所有は慶應義塾であるので、その目的と必要に応じて、各所からの要請がある場合には対応し、リーダー指揮については、リーダー部員しか指揮を行えるものがいなかったため行わないこととする。新型コロナウイルス感染症の影響などにより、厳しい社会情勢が続くが、4月1日から活動を再開できるようお願いしたいと担当者から述べられた。

これに関し、福利厚生機関本部代表 梅山晃弘から「内部監査役」の決定方法に関する質問がなされた。これに対し、應援指導部 森下哲晴より、部内で独立性や俯瞰性を確認し、候補者の中で誰が適任であるかを話し合いと投票で決定するとの回答がなされた。また、塾生代表 後藤圭祐から何名設置するのかという質問があり、森下哲晴は3名設置する予定であると回答した。福利厚生機関本部代表は、任期についての質問を行い、森下哲晴から1年であるという確認が得られた。

さらに、事務局長 岩館則明からマナー講座について、具体的な内容やスパンについての質問があった。森下哲晴は、一ヶ月や二ヶ月に一回程度行い、経験豊富な社会人に人との接し方や態度について学ぶ予定であると回答した。

また、芝学友会会長 福井一玄から、塾生新聞や塾生情報局に広報についての問い合わせを行なったのかという質問があった。これに対し、應援指導部 菊池彩美から、現時点で應援指導部からの働きかけは行っておらず、全塾協議会から問い合わせただけとありがたいという要望を受けた。

全塾協議会事務局財務部長 関田大輝から、旧リーダー会計が所持していたお金はどこに移すのかという質問があり、森下哲晴から本部会計へ移すという回答が得られた。

議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表 後藤圭祐は本決議を承認した。

## 8. 連絡事項

### (1) 次回全塾協議会の日程について

全塾協議会規約 第19条に基づき次回全塾協議会定例会の日程については後日調整を行い、追って連

絡することが議事部長 張容準より報告された。また、事務局長 岩館則明より、新型コロナウイルス感染症の影響で、キャンパスで定例会を開催することが難しいことが予想されていると述べられた。もし、オンラインで定例会を開催する場合はメールにて連絡するので、承認可否を連絡して欲しいとのことであった。加えて、議案数をオンライン用に減らしているため、今後議案数が詰まってくる恐れがあるが、それについても今後検討し、決定次第連絡すると述べられた。

## (2) 塾生代表からの連絡

塾生代表 後藤圭祐から、新型コロナウイルス感染症の影響で活動制限が生じており、混乱があるが、学校側からの指示に従い、新歓活動はオンラインのみを徹底して欲しいという願いがあった。

## 9. 閉会宣言

事務局長 岩館則明が閉会を宣言し、19：28 に閉会した。